



第二ぎんなん便り

熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
令和4年2月24日
第429号



待ちに待った春到来！

施設長 松永行弘



梅の花がほころび、ウグイスの鳴く頃となりました。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍中、まだ寒い日も続きますので、くれぐれもお体に留意なされ、さらにご活躍されますことを祈念申し上げます。

北京五輪が閉幕しました。アスリートの皆さんの素晴らしいパフォーマンスと大会関係者に盛大な拍手を送りたいです。お疲れ様でした！一方で、人権問題、ドーピング問題、ウクライナ情勢も加わって大きく揺らぎ続けました。毎回、様々な問題が発生していますが、「人間の尊厳」や「平和の祭典」としての位置付けを忘れてはなりませんね。次のパラリンピックに参加するすべての関係者の皆さんへ暖かい声援を送り続けたいと思います。

さて、話題は変わりますが私の最後の便りとして最も気になっている「親なき後」について少しだけ触れたいと思います。自分と妻がいなくなっても息子が快適に暮らせるようにするには、どうやって財産を管理すればいいのでしょうか。20年後ほぼ確実に「老障介護」になります。親はいつまでも元気で子どもの世話ができるという保証はどこにもありません。「後見人」という制度の問題があります。そこで必要なのは、将来を冷静に見据えたシミュレーションです。理解のある専門家に相談しながら考えをまとめていくのが賢明だと考えています。

アスリートの皆さんのような前向きな努力と何事にも諦めない強い気持ちを持ってください!!

〔作業所の様子〕

① 2/16 (水)



② 2/7 (月)



①早朝からカーリング！ナイスショット!!

「少し滑りが・・・」

②ハッサク収穫終了日：古民家での昼食（不知火）

「全部採ったね。頑張ったよ！」「お腹が空いた」

③ 2/17 (木)



④ 2/12 (土)



③農耕：念願の小屋（休憩所）が完成！

前田職員を中心に組み立て、造りあげました！

④販売：JA植木まつり（農業公園）

家族連れなど多くのお客さんが来られました！

【2022年新年の抱負：レクリエーション】



皆さんの心の中で抱いている決意表明です。目的や目標が明確になって、どう行動していくかがよく分かりますね。

【退職のお知らせ】

前田職員と松永が2月末日で退職することになりました。前田職員は、平成25年から9年間従事され、利用者さんからの信頼も厚く、様々な技術力が高く、全ての作業をこなす作業所の大黒柱的存在でした。これからの益々のご健康とご健勝をお祈り申し上げます。私は、家庭の都合でやむなく退きますが、大きな力になれなくて申し訳ございません。

これからも、第二ぎんなん作業所を変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。